（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	北部こども療育センター			
○保護者評価実施期間	令和7年12月16日		～	令和8年2月17日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	1	（回答者数）	1
○従業者評価実施期間	令和8年2月17日		～	令和8年3月5日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月16日		～	令和8年2月17日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）		（回答数）	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の保育に活かせる具体的な支援や関わりを提案している	提案する支援の内容など、訪問先と共に考える姿勢を持ち、訪問先の職員に丁寧な説明を意識している	提案した支援が実際の保育に活かせられるよう、訪問支援員がいろいろな視点を持ち、訪問先の職員と話し合っていく
2	療育だけでなく保育園で勤務した経験がある職員がいることで、園での生活や遊びを想定して助言したり、一緒に考えたりできる	園の取り組みを理解した上で、必要な遊具を持ち込み支援を行っている	訪問者が経験したことを、職場内で他の職員にも共有し、保育所等訪問支援事業の内容を理解していくことで、誰もが訪問員（登録）として動けるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今後、利用希望が多く出てきた場合は、ニーズに合わせて柔軟な対応が必要である	1日療育を行っているため、訪問支援員、児童発達支援管理責任者の人員、日程や時間も限られているため、訪問先と日程を合わせるのが難しい日もある	今後、訪問支援について、市の巡回相談とすみ分けしながら利用件数を見直していく。また、保育所等訪問支援事業を専門とするチームを作る等、事業の整理が必要かと考える
2			
3			